

(1) 学習のねらい

育てたじゃがいもを収穫し、その調理に思いを募らせ始めた子どもたちが、目的別の調理の例に触れ、改めてどのように調理したいか考える活動を通して、育ててきたじゃがいもとそれに対する自分たちの思いについて考えることで、意向に沿った決定をすることができる。

じゃがいもの目的別の調理の例

- 前時に子どもたちは自分たちが育ててきたじゃがいもを収穫した。立派に育ったじゃがいもを手にとったことで、それらをどのように調理しようかと様々なじゃがいも料理に思いを募らせ始めたところで本学習材を提示する。
- 本学習材はキタアカリの特徴にあった料理(ポテトサラダ、コロッケ、いももち)や、素材の味を楽しめる料理(じゃがバター、ポテトチップス)を提示することで目的にあった調理があることを知ってもらうというものである。そして、この学習材を踏まえたうえで改めてどのように調理したいか考える活動を通して、育ててきたじゃがいもとそれに対する自分たちの思いについて考えることがと期待できる。

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1. 作りたいじゃがいも料理を出してもらおう。 (クラス全体)	学習問題 自分たちの育ててきたじゃがいもで作る料理を考えよう。 ・ポテトチップス！ ・じゃがバター！ ・ポテトサラダ！	5'	○作りたいと思う料理をまずは出してもらおう。 ○立派に育った自分たちのじゃがいもをどのように調理しようかと、様々な料理に思いを募らせ始めたところで本学習材を提示する。
		学習課題		学習材
	キタアカリの特徴とそれに合った調理を考えよう。			じゃがいもの目的別の調理の例
展開	2. 自分たちが育ててきたじゃがいもについて考える。	・ほくほくしてる！ ・煮崩れしやすいらしいよ！ ・甘い！	10'	○キタアカリの特徴を挙げてもらいその特徴にあった調理の例を提示する。
	3. 改めて、作りたいじゃがいも料理について考える。(班ごと)		10'	・2の活動を踏まえて、教師が決めた候補等から料理を2つ決めてもらおう。 ・ゆでるのに時間がかかるため、2つのうち1つはゆでない料理にするよう促す。

終 末	4. 決定した班から、料理の作り方や材料の確認を行う。	・ こうやって作るんだね。 ・ 楽しみになってきた！ ・ 包丁は気を付けないとね。 ・ 分担はどうしようか。	15'	・ 2つに絞れないようであれば、時間を分けて作ることも可能であることを伝え、次の時間に作る料理を考えてもらう。 ・ 決まった班はワークシートに記入し教師に報告する。 ・ タブレットを各班に1台渡し、自分たちの作る料理を確認してもらう。
	5. 本時の振り返りと次時の確認を行う。	・ みんなで考えたからつくるのが楽しかった！ ・ じゃがいもの味が楽しみ！	5'	評価 料理に対する自分の考えや思いをワークシートの記述から読み取る。